



個別相談を希望される場合は、申込時に伝えて

赤ちゃんからできる スキンケア・アレルギー講座

健康相談 日時 10月1日(木)午前9時30分〜11時 場所 保健・福祉合同庁舎

健康相談 問合せ先 健康推進課 072-433-7000

過去に石綿(アスベスト)にばく露した可能性のあるかたに対し、健康管理に

石綿読影の精度に係る調査

健康推進課 072-433-7000

「ハロウィン」をテーマに開催します。日時 10月19日(月)午前10時〜午後1時

幼児食講習会 日時 10月15日(木)午前10時〜11時30分

健康相談 問合せ先 健康推進課 072-433-7000

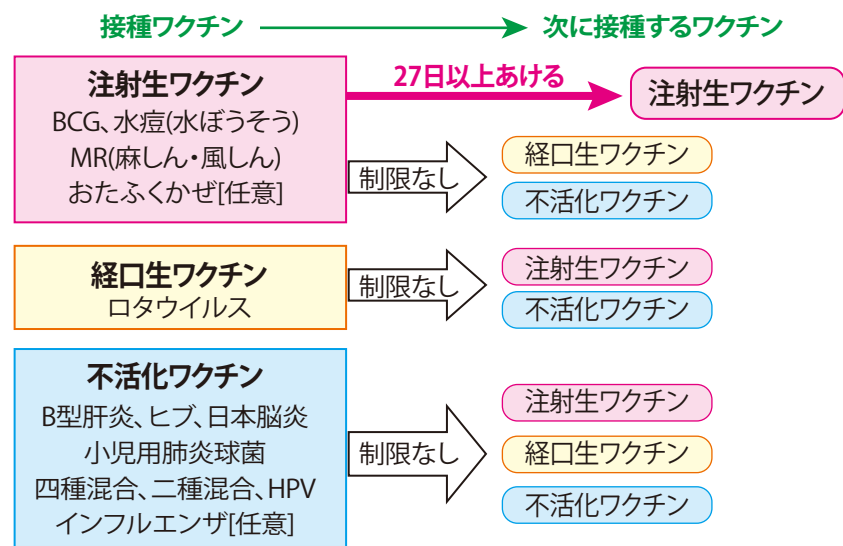
役立てていただくために、市では環境省の委託を受けて、石綿読影の精度に係る調査を実施します。

10月から子どもの予防接種の接種間隔が変更されます

問合せ先 健康推進課 072-433-7000

注射による生ワクチンの接種後、他の種類の生ワクチンを注射により接種するときは、今までどおり接種した日の翌日から起算して27日以上の間隔をあける必要がありますが、それ以外のワクチンの接種間隔は、10月1日から制限がなくなります。

ただし、同一種類のワクチンを接種する場合は、ワクチン毎に規定された接種間隔を守ってください。また、医師が必要と認めた場合には、現行どおり同時接種を行うことができます。



妊婦特別定額給付金の申請期限は9月30日 対象 次の全てを満たすかた

健康相談 問合せ先 健康推進課 072-433-7000

新型コロナウイルス感染防止のための「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイント

問合せ先 健康推進課 072-433-7000

- 気温・湿度が高い中でマスクを着用すると、熱中症のリスクが高くなる恐れがあります。このため、屋外で人と十分な距離(少なくとも2m以上)が確保できる場合には、熱中症のリスクを考慮し、マスクをはずしましょう。



ほっ スピタル・か い づ か

(45) 皮膚疾患に対する光線療法

問合せ先 貝塚病院 072-422-5865

貝塚病院皮膚科では皮膚疾患に対する光線療法を行っています。光線療法とはナローバンドUVB療法という治療です。ナローバンドUVBとは波長が311nm(ナノメートル:10億分の1m)付近の範囲の紫外線です。

現在この治療は主に、アトピー性皮膚炎、乾癬、類乾癬、掌蹠膿疱症(しょうせきのうほうしょう)、慢性苔癬状糠疹(まんせいたいせんじょうひこうしん)、尋常性白斑(じんじょうせいはいくはん)、円形脱毛症、悪性リンパ腫、菌状息肉腫に保険適応があります。

塗り薬での治療で治りが悪い場合、皮膚の症状の面積が広い時などにこの光線療法が適応します。皮膚の症状を改善させ、皮疹の面積を減らすだけでなく、かゆみも減少させることもあります。

この治療のメリットは、一箇所当たり数分間の照射で良いため、治療が短時間で済みます。デメリットとしては、色素沈着(皮膚の黒ずみ)や日焼けの症状が出る可能性があること、長期間にわたる照射では皮膚ガンが生じる可能性がある事などです。

他院皮膚科で治療を受けられているかたで光線療法を希望される場合は、現在のかかりつけの医院や病院の紹介状の持参をお願いします。

光線療法を希望されるかたは、受診の際に気軽にご相談ください。

皮膚科医長 山内康平